

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【公表番号】特表 2001-521565 (P2001-521565A)

【公表日】平成 13 年 11 月 6 日 (2001.11.6)

【出願番号】特願 平 10-543243

【国際特許分類第 7 版】

C 1 0 L 1/22

C 1 0 L 10/00

【F I】

C 1 0 L 1/22

C 1 0 L 10/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 22 日 (2005.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

17.3.22

平成 年 月 日

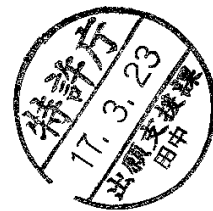
特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第543243号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 インフィニウム ホールディングス
ベスローテン フェンノートシャップ

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

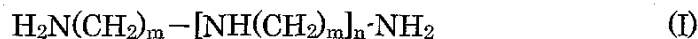
6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容 別紙記載の通り



請求の範囲

1. イオウ濃度が最大で0.05重量%の多量の液体炭化水素中間留出燃料油、及び
(A)モノエチレン系不飽和C₄-C₁₀ジカルボン酸材料のポリアルケニル誘導体であ
って、ポリアルケニル鎖の数平均分子量 (Mn) が850~1150の範囲であり、及び
ポリアルケニル鎖ごとのジカルボン酸部分の比率が1.2 : 1以下である該ポリアル
ケニル誘導体と、(B)一般式



で示されるポリアミン (式中、m は 2~4 の範囲、n は 1~6 の範囲である) とを、
モル比 A : B が 4 : 3~1 : 10 の範囲で反応させることにより得られる少量の分散
添加剤を含有する燃料油組成物。

2. ポリアルケニル鎖が少なくとも 1 種の C 2 - 5 モノオレフィンのポリマーか
ら誘導される請求項 1 記載の組成物。
3. モノオレフィンがイソブチレンである請求項 2 記載の組成物。
4. n が 1~3 の範囲である請求項 1~3 のいずれか 1 項記載の組成物。
5. モル比 A:B が 6:5~1:2 の範囲である請求項 1~4 のいずれか 1 項記載の組成
物。
6. 分散添加剤の量が、全組成物量を基準として 10~400 重量 ppm 活性物質の
範囲である請求項 1~5 のいずれか 1 項記載の組成物。
7. 分散添加剤の量が、全組成物量を基準として 40~200 重量 ppm 活性物質の
範囲である請求項 1~6 のいずれか 1 項記載の組成物。
8. さらに、全組成物量を基準として 50~500 重量 ppm の範囲で潤滑添加剤を
含有する請求項 1~7 のいずれか 1 項記載の組成物。
9. 請求項 1~8 のいずれか 1 項記載の燃料油組成物の製造方法であって、分散添
加剤又は分散添加剤を含有する添加剤濃縮物と燃料油とを混合することを含む前
記方法。
10. 圧縮点火エンジンの操作方法であって、前記エンジンの燃焼室に請求項 1~
8 のいずれか 1 項記載の燃料油組成物を導入することを含む前記方法。